



申請事業の内容

事業名 (プロジェクト名)	真備写真洗浄@あらいぐま岡山
事業概要 (事業内容を簡単に)	災害で被災した写真をお預かりして 泥や汚れを落としておかえしする
活動(予定)期間	2018年 9月 28 日 ~ 2020年 7月 7日
活動(予定)場所	真備町箭田地内
受益者数	直接受益者 ( 388 名) 間接受益者 ( 名) ※いる場合
<b>事業の必要性(背景)と目指すゴール(目指す状況)</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状や支援対象者の状況(支援対象者との現在の関係性についても必要に応じて記入)</li> <li>・事業を実施することで被災地や被災者がどのような状況になることを目指すのか</li> </ul>	
<p>2018年豪雨災害の倉敷市真備で活動を開始した。 昨年 基金をお預かりし 真備町内に拠点をもうけさせていただいて洗浄会を開催してきたが やはり 真備の中で行う意義は大きく 住民の方たちにも 広く周知されたと思っている、 現在 388件の写真をお預かりし 218件を処理し 返却が完了している。</p> <p>返却の時に住民の皆さんは大変喜ばれていて こちらが恐縮するほど 感謝を表してくださる。</p> <p>洗浄会そのものの輪が広がり グリーンコープ様 おかやまコープ様が組合員の自主活動として 我々から写真をうけて洗浄会を開催してくださったり 仲間たちが東京で2か所 神戸・大阪・明石・出雲で洗浄会を開催してくれている。</p> <p>また 本年9月の新見の水害にも現地にでかけて支援をおこなった(新見は現地で洗浄会を開催し活動継続中)</p> <p>佐賀は武雄市であらいぐま佐賀の立ち上げを支援した。</p> <p>台風19号の被災地15か所に 写真を捨てないで という趣旨のチラシを郵送して 広報活動のバックアップもおこなっている。長野県・千葉県・福島県にでかけている仲間にもチラシを託した。</p> <p>真備の住民さんたちが 希望をすてず 真備にかえってこられるように 思い出を残せるように努力する。</p> <p>預かった写真は最後まで 丁寧に洗浄し お返りする。</p> <p>真備だけではなく 写真の保存や 地域防災に役立てるように 講師・講演活動や 防災ワークショップ 広報誌などの作成などの事業にも関わり みなさんの意識を高めたりする活動に寄与したい。</p> <p>全国的に写真洗浄の機運をたかめ 資機材や人材の共有 相互の連携やネットワークの構築も図りたい。</p>	

## 事業の実施内容

・どのようなことをいつ（回数等）やるのか

毎週 土日 平日一日 真備と玉島にて ボランティアを公募して洗浄会を開催する。

写真を管理・保管をする

住民の皆さん ボランティアの皆さんに洗浄会の告知 広報をする

ボランティアさんが 快適に活動できるように 場所の確保 環境整備につとめる

お預かりした 写真を確実に管理・保管できるように 場所と設備を整える

ボランティア活動や 写真洗浄に必要な資機材 消耗品などを購入もしくは スマートサプライなどで募って 効率的かつ 気持ちよく活動ができるようにする

写真洗浄の技術ややり方を広めて 関われる人材を増やす。ノウハウを蓄積して 研究につとめ 効率的かつ できるだけ 元画像を温存する技術を開発する。

返却会を定期的で開催して 真備からでている人を真備にきてくださるきっかけづくりになりたい。

2020年7月を目標に進めるが その後も継続して活動をすすめる予定。

## 事業の実施体制

・事業実施にあたり、自団体の取り組みメンバーや連携先の団体など

取り組みメンバー（あらいぐま岡山 役員）

会長 中谷 幸太郎 事務局 森田 靖 リーダー 福井 圭一

理事 林 美絵 前田 弘 林 信和 河井 雪歩 東田 峰子 片岡 かなこ 穂積 久志

道広 仁美 出口 浩二 小野 直子 大森 功資

提携先 おかやまコープ様 資機材の提供 人材の提供 連島洗浄会の開催

グリーンコープ様 資機材の提供 人材の提供 岡山洗浄会・庭瀬洗浄会の開催

おたがいさまプロジェクト様 ボラバスでの人材の提供 神戸洗浄会の開催

神戸でのワークショップ開催

上智大学様 洗浄会の開催

課外のあらいぐま様 洗浄会の開催 アウトソーシング実施

あらいぐま大阪様 大阪洗浄会の開催

あらいぐま明石様 明石洗浄会の開催

出雲ボランティアセンター様 出雲洗浄会の開催 ボラバスでの人材提供

出雲でのワークショップの開催

くらすぼ様 学習塾での中学生の洗浄会 ワーカーズコープ様との開催

あらいぐま山口様 アウトソーシング（相互） 佐賀県への共同支援 技術交流

個人的なアウトソーシング先

鈴木省一様（宮城県） 倉知様（神奈川県） 飯田礼子様（香川県） 大久保様（東京都） 原田様（倉敷市）

**事業実施後の展望**

- ・助成期間後も活動を継続する場合はその内容や展望
- ・助成期間をもって事業終了の場合は、その後の支援対象者の状況

お預かりした写真をすべてお返しするまでは 活動は継続する。その後も各地で起こりうる災害に備えて 門戸を開き 広く広報活動を行う。

また 写真洗浄のネットワークを築き 普段から 情報共有 ノウハウ移転 研究会 活動報告会などを行い 次の災害に備える。

資機材と人材を備蓄して 災害がおこったら すぐに現地に行って 活動ができる準備を行う  
写真洗浄ワークショップや 防災ワークショップを地域で行い 普段から 啓発活動を行う

**その他**

- ・その他事業実施にあたり、特に必要なことやPR

元田集会所の改修工事が来年から はじまり 12月末には退去の予定。

現在 お借りしている 岡様の倉庫に 活動拠点を移転する。

が トイレがないので（電気は費用負担をして 引き込み済）仮設トイレを整備したい。

※この用紙に収まらない場合は、別紙企画書など添付ください。ただし、概要についてはこのページ1枚にまとめてください。

実施予算 ※価格の根拠が分かるものなど必要に応じて添付ください。

**※収入と支出の合計をあわせてください。**

## 1) 本事業の収入

費 目	金 額	備 考
ももたろう基金（助成申請額）	500000	
自己資金 もしくは他の助成	209000	
合 計	709000	

## 2) 本事業の支出

費 目 （必要な場合算出根拠）	金 額	備 考
仮設トイレ 工事費	349000	
仮設トイレ リース料 30000 円×6 ヶ月分	180000	
消耗品 20000 円×6 ヶ月分	120000	
水道光熱費 10000 円×6 ヶ月分	60000	
合 計	709000	

## 備考欄

--